

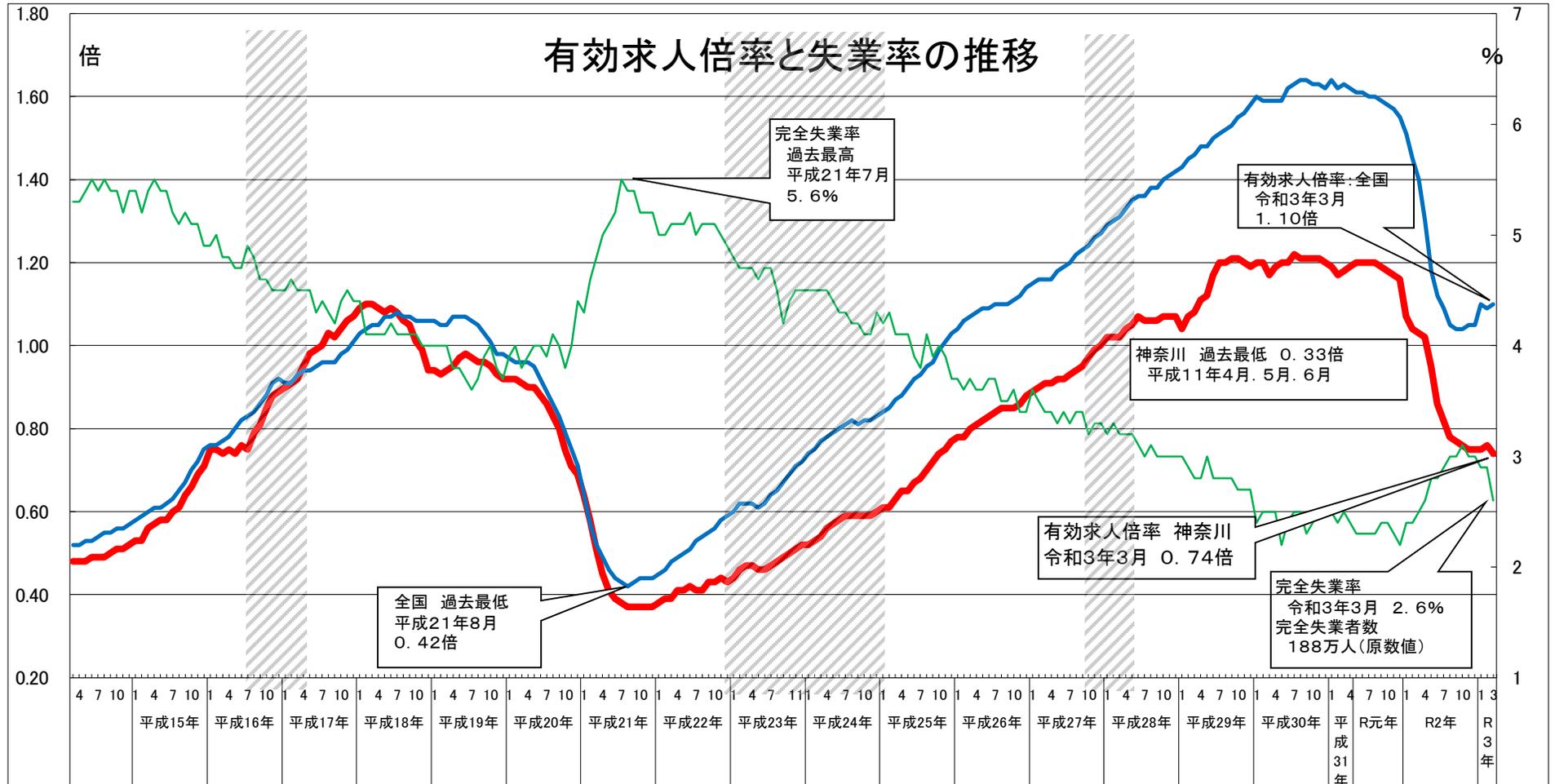
現下の雇用情勢について

令和3年5月25日
神奈川労働局

1 有効求人倍率（神奈川県）と完全失業率（全国）の推移

神奈川県の有効求人倍率（受理地別）は、

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、2020年1月以降、大きく低下し、2020年5月に4年6か月ぶりに1倍を下回り（0.95倍）、その後も1倍を下回って推移。（2021年3月 0.74倍）
- （参考）リーマンショック後の有効求人倍率の最低値は 0.37倍



(注)有効求人倍率・失業率の令和2年12月以前の数値は新季節指数により改定している。完全失業率・完全失業者数は平成23年3～8月は東日本大震災の影響で、岩手・宮城・福島県の3県は除いている。
 * 景気基準日付と拡大期・後退期: S61年11月～H3年2月=第一次平成不況～H5年10月=バブル景気～H9年5月=カンフル景気～H11年1月=第二次平成不況～H12年11月=IT景気～H14年1月=第三次平成不況～H19年10月=いざなぎ景気

2 産業別の新規求人数の動向について

神奈川県の新規求人数（受理地別）の対前年同月比（2021年3月）は、

- 「宿泊・飲食サービス業」 ▲30.8% マイナス幅が縮小
- 「建設業」 +18.4% 4か月連続の前年比プラス
- 「製造業」 ▲2.7% 全体でマイナス幅が大幅に縮小
- ・特に、電子部品製造業（+10.9%）、食料品製造業（+1.7%）、輸送用機械器具製造業（+1.4%）で改善

新規求人の主要産業別状況（パートタイムを含む）

（単位：人、％）

神奈川県労働局

項目 年月	産業計		第2次産業				第3次産業													
			D 建設業		E 製造業		G 情報通信業		H 運輸業、郵便業		I 卸売業、小売業		L 学術研究、専門・技術サービス業		M 宿泊業、飲食サービス業		P 医療、福祉		R サービス業	
	前年比		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
30年度月平均	38,162	▲3.1	3,367	2.8	3,010	▲3.7	1,720	▲2.3	2,597	3.5	3,696	0.4	1,087	3.2	1,874	▲44.8	10,944	2.9	6,085	▲0.7
令和元年度月平均	35,903	-	3,217	-	2,536	-	1,633	-	2,280	-	3,545	-	937	-	1,469	-	10,948	-	5,650	-
令和2年4月	23,327	▲36.2	2,949	▲21.2	1,249	▲53.6	912	▲46.6	1,741	▲37.4	2,159	▲32.8	443	▲50.6	379	▲75.7	8,049	▲24.8	3,135	▲46.7
5月	24,935	▲31.8	2,413	▲20.0	1,346	▲47.4	1,155	▲25.1	1,649	▲26.0	1,966	▲50.5	640	▲34.3	873	▲46.5	8,449	▲24.2	4,048	▲31.8
6月	29,240	▲17.8	3,448	2.3	1,636	▲38.8	1,119	▲26.3	1,579	▲37.5	2,825	▲21.5	693	▲31.5	867	▲46.4	9,415	▲9.9	4,755	▲11.0
7月	27,097	▲29.6	3,312	▲9.5	1,448	▲50.7	1,165	▲33.8	1,807	▲25.9	2,258	▲34.4	670	▲30.1	1,240	▲24.2	8,635	▲28.2	3,734	▲38.0
8月	26,138	▲28.4	2,524	▲18.1	1,421	▲44.2	1,292	▲32.4	1,440	▲31.0	2,296	▲36.9	764	▲28.0	628	▲64.5	9,385	▲13.5	3,954	▲35.4
9月	29,853	▲12.8	3,250	3.5	1,846	▲34.1	1,173	▲22.5	1,955	▲15.6	2,888	▲16.0	679	▲27.1	823	▲44.5	9,861	▲7.0	4,823	▲7.5
10月	31,495	▲23.1	3,532	▲9.7	1,845	▲33.9	1,402	▲22.2	2,179	▲20.2	2,552	▲44.4	596	▲36.9	1,294	0.9	9,802	▲18.8	4,762	▲20.8
11月	29,185	▲21.1	2,894	▲7.9	1,609	▲31.0	1,419	▲22.7	1,968	▲3.1	2,927	▲8.0	884	▲16.6	849	▲43.4	9,593	▲14.9	4,606	▲25.5
12月	29,113	▲9.3	3,062	10.1	1,785	▲27.0	1,354	▲9.2	1,568	▲22.7	2,607	▲22.2	710	▲22.0	691	▲45.7	9,745	▲0.5	4,842	▲10.3
令和3年1月	30,002	▲10.7	3,596	17.1	1,827	▲28.5	1,321	▲2.7	2,148	0.2	2,596	▲22.8	634	▲15.4	478	▲49.0	9,927	▲5.9	4,069	▲11.7
2月	30,943	▲16.1	3,119	16.7	1,980	▲1.6	1,481	▲17.4	1,915	▲9.2	2,770	▲20.7	905	▲2.4	676	▲58.7	9,532	▲18.2	4,045	▲33.2
3月	31,633	▲2.3	3,571	18.4	2,034	▲2.7	1,379	1.2	1,595	▲17.7	2,530	▲22.5	713	▲12.5	902	▲30.8	9,912	▲3.6	5,179	3.3
2年度合計	342,961	▲20.4	37,670	▲2.4	20,026	▲34.2	15,172	▲22.6	21,544	▲21.3	30,374	▲28.6	8,331	▲25.9	9,700	▲45.0	112,305	▲14.5	51,952	▲23.4
2年度月平均	28,580	-	3,139	-	1,669	-	1,264	-	1,795	-	2,531	-	694	-	808	-	9,359	-	4,329	-
前年同期比(%)	▲20.4	-	▲2.4	-	▲34.2	-	▲22.6	-	▲21.3	-	▲28.6	-	▲25.9	-	▲45.0	-	▲14.5	-	▲23.4	-

（注）1. 産業分類は、平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく。

2. ▲は減少

新規求人製造業中分類別の推移【全数】

	令和2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年1月	2月	3月
製造業全数	▲ 24.4	▲ 53.6	▲ 47.4	▲ 38.8	▲ 50.7	▲ 44.2	▲ 34.1	▲ 33.9	▲ 31.0	▲ 27.0	▲ 28.5	▲ 1.6	▲ 2.7
09食料品	▲ 10.6	▲ 59.4	▲ 46.2	▲ 18.2	▲ 52.2	▲ 45.0	▲ 10.7	▲ 58.5	▲ 61.5	▲ 12.4	▲ 61.6	▲ 19.8	1.7
16化学	▲ 62.5	▲ 70.7	▲ 61.5	▲ 65.4	▲ 93.3	▲ 79.8	▲ 78.8	▲ 77.5	▲ 45.1	▲ 75.8	▲ 76.3	▲ 54.7	▲ 19.2
18プラスチック	39.7	▲ 54.4	▲ 22.4	▲ 18.9	▲ 12.5	▲ 4.8	▲ 44.2	73.3	▲ 6.1	▲ 31.1	20.0	11.3	▲ 28.4
24金属製品	▲ 27.2	▲ 46.8	▲ 52.7	▲ 55.3	▲ 34.7	▲ 25.4	▲ 50.2	▲ 23.9	▲ 30.7	▲ 20.1	▲ 17.4	8.9	▲ 20.9
25はん用機械	▲ 17.2	▲ 37.3	▲ 15.7	▲ 58.1	▲ 34.0	▲ 28.6	▲ 35.4	▲ 12.7	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 11.9	50.2	▲ 13.0
28電子部品	▲ 16.9	▲ 35.6	▲ 73.5	▲ 54.1	20.7	▲ 54.8	▲ 48.4	36.4	▲ 56.9	▲ 33.3	1.5	▲ 14.1	10.9
29電気機械器具	▲ 33.8	▲ 71.4	▲ 46.9	▲ 39.3	▲ 55.9	▲ 41.8	▲ 48.0	▲ 41.9	▲ 36.5	▲ 32.7	▲ 10.7	▲ 19.5	1.1
30情報通信機械	▲ 14.6	▲ 69.4	▲ 18.4	34.4	▲ 74.8	▲ 77.2	10.8	▲ 35.0	▲ 62.5	▲ 43.6	▲ 26.3	▲ 59.3	▲ 34.2
31輸送用機械器具	▲ 21.5	▲ 58.9	▲ 63.5	▲ 42.2	▲ 43.6	▲ 45.2	▲ 34.2	▲ 15.6	11.0	▲ 25.8	0.3	8.4	1.4

※前年同月比